

令和6年度 大津町子ども・子育て会議 議事録

- 開催日時 令和7年1月24日(金)10:00～
- 会場 大津町役場1階 多目的室
- 出席委員 工藤委員(会長) 大村委員 村上委員 坂本委員 高山委員
村田委員 江口委員 磯野委員 益田委員 後藤委員
- 欠席委員 関委員(副会長) 備海委員 太田委員 堀委員
- 傍聴者 なし
- 事務局 大隈健康福祉部長 伊東子育て支援課長
梅野子育て支援課課長補佐
蔵森子育て支援課主幹兼入園支援係長
森子育て支援係長 桐原入園支援係主事
宮内健康保険課母子保健係長
- 次第
 1. 開会
 2. 議題
 - (1)こども計画について【資料1】
 3. 閉会

■議題

(1) こども計画について

事務局より説明 【資料1】

〔会長〕委員の方から事前に意見をまとめていただいていますので、説明をお願いしてもよろしいでしょうか。

〔委員〕：まずは文言の修正についてです。P42下から3行目の保育園・認定こども園の後ろに「等」と入れていただきたいです。P46の児童生徒のSOSの出し方の啓発の部分は、児童と生徒の間に「・」を入れていただきたいです。また、子どもたちの登下校時の見守りの担当課をご検討お願いします。P48地域未来塾の中学生三年生を、中学3年生に変更したほうが良いと思います。図書館運営事業の「サードプレイス」という表現は、他の項目と表現を合わせて「第三の居場所」が良いと思います。P49秋期体験キャンプの「高校生ボランティアとの」の後に再度「の」があるため削除をお願いします。P60上から3行目の認定こども園・保育所・幼稚園と小学校の表現を、保育園・認定こども園等に変更をお願いします。

次に提案です。P25などのニーズ調査については、実施した年度を入力したほうが分かりやすいと思います。P44からP64にかけて、各事業について「行います」と「行っています」と二種類の表現がありますが、計画であるためこれから取り組んでいくことが伝わるような「～します」「努めます」「図ります」のような表現が良いと思います。

P44子どもの権利普及啓発事業について、担当課が子育て支援課・人権推進課ですが、学校教育課を追加したほうが良いと思います。P45③児童虐待防止の内容ですが、大人からの相談を拾う事業が多く、子どもの意見を拾う窓口が少ないため、子どもが相談できる窓口についての表現があると良いと思います。P46自殺対策の上から2行目に、「子どもや若者の自殺が社会的な問題となっています」とありますが、その下は子どものみの表現で記載されているため、若者も該当する部分は子どもや若者と記載をお願いします。情報モラル教育の推進や公民館講座は若者も受けられると思いますので、そのような箇所に「若者」の文言追加をお願いします。P62よかボス企業の推進について、仕事と子育ての両立とありますが、がん対策基本法や働き方改革の中で、治療と仕事の両立支援もキーワードになっています。治療中に両立支援コーディネーターに相談できるなどの表現を入れても良いと感じました。P64母親の健康保持のところで、母親の健康保持の部分の【具体的な施策・事業】のレイアウトを変更をお願いします。

〔事務局〕ご提案いただきありがとうございます。いただいた意見を踏まえ、町としての取り組みや、他課との調整を行いながら進めていきます。

〔委員〕P40下から3行目「行政や公的機関が発信する情報を若者世代が入手できていない」とありますが、受け手側の問題と誤解を招くため、発信する側が工夫をするような表現が良いように思いました。また、若者世代への意見聴取内にある意見で、病児病後児保育施設が当日予約できるようにしてほしいと記載されていましたが、現状当日予約が可能であるため、発信する方法の工夫も必要だと感じました。P44合理的配慮の普及啓発について、取り組み内容に記載された「適切な助言や指導を行います。」が上から目線に感じるため、寄り添うような表現に変更をお願いします。P83量の見込み・確保方策の表に②―①と記載されていますが、記載されている箇所とされていない箇所があるため統一をお願いします。

〔会長〕発信についての強化に、発信方法についての記載が少ないため、検討いただきたいと思います。

〔事務局〕情報発信・その表記については、工夫を重ねながら情報を分かりやすく伝えられるようにしていきたいと思います。会長から話がありました発信方法についても、検討していきたいと思います。また、量の見込み、確保方策についても、分かりやすく記載していきます。

〔会長〕欠席委員から意見をいただいておりますので、事務局から説明をお願いします。

〔事務局〕P7に記載されているとおり大津町でも出生数は年々減少しています。平成29年がピークで409人でした。流入と流出の差が大きいことを踏まえると、令和7年度以降、園に在籍する子どもの数は年々減少することが予想されます。地域の子育て拠点として待機児童対策を講じつつも、保育士の雇用を守りながらいかにダウンサイジングするかが今回の計画の重要なポイントになると考えています。素案に盛り込まれているように、計画的に定員を減らしていくことで、園の安定した経営を維持しつつ、地域や園のバランスをとることができると思います。令和7年度からは国も定員超過減算に関して、期間を5年から2年に見直すこととなっており、定員減後に大幅に定員を超過するような運営は制限されることになります。大きな変化の中にある大津町であるので、計画については見直しを行い、本計画以外についても柔軟に定員変更をお願いしたいと思います。以上が欠席委員からの意見になります。

〔事務局〕今後の未就学児の児童数を見込むことが非常に難しい状況ですので、今回の計画と今後の状況を照らし合わせながら、計画の見直し・定員の変更を計画的に行っていきたいと考えております。

〔会長〕この計画については、5年間の計画ではありますが、毎年計画の進捗報告や、状況に大きな変更があれば計画の見直しを行うということによろしいでしょうか。

〔事務局〕毎年実績については、この会議で報告させていただいております。今後の人口動態や実績を基に、中間見直しなど柔軟に対応していきたいと考えています。

〔委員〕今後のスケジュールにパブリックコメントがありますが、具体的にどのような方法で実施される予定でしょうか。

〔事務局〕周知方法としては、広報紙・ホームページ・公式LINEを予定しています。公開する場所は、大津図書館・子育て支援課の窓口・ホームページへの掲載を予定しています。意見の収集方法は、メールまたは文書、電話を予定しています。

〔委員〕P39「経済的な理由等により、本来成長にとって必要な年少児の体験活動」は年少児に限らないと思いますので、年少児を子どもに変えたほうが良いと思います。P40(3)下から3行目「小学生の普段の活動の中でスマートフォンの利用時間が増えており」の部分は、活動だと家庭外の学校などを連想するため、普段の生活などの表現が分かりやすいと思います。

〔事務局〕ご指摘の箇所については修正をいたします。

〔委員〕先ほどのご意見については私も同じ意見です。年少児に限らず、子ども、若者という表現にしていきたいと思いました。スマートフォンの利用についても、小学校に限らず中学校や高校でも問題になっているため、子ども、若者の表現をお願いします。P41基本理念については、前回の意見を反映していただきありがとうございます。「夢を持ち、一緒に」の表現は、子ども、若者だけでなく、周りの人も一緒にという意味合いが表現されていると思います。教育実践目標の中でも、「夢を持ち、夢を育み、夢を叶える」としているため、夢を持ち一緒に育つという表現は素敵だと思いました。

〔会長〕ご意見ありがとうございました。本日いただいた内容を反映させ、パブリックコメントを実施しまして、次回の会議時に最終案をご提案したいと思います。